

## I <報告>第1回 部落問題部会研修会

8月8日(月)10:00~16:00「福岡県ボランティアセンター」で標記の集会被開催されました。午前は、原口孝博さん(元福岡市立堅粕人権のまちづくり館館長)による「全国水平社創立百周年にあたって今一度「部落差別」を再考する~二人称の関係・つながりを求めて~」と題した講演でした。昼食休憩をはさんで13:30から園田久子さん(本研究所副理事長)による「あなたは、学習して優しくなったよ!~「差別事象」を教育の課題として取り組む~」をテーマにした授業研報告でした。その後、全体交流(意見交流)を行いました。参加者の質問意見も多く出され充実した研修会となりました。参加者は38名でした。部落問題部会では、今後も研修会を開催する予定です。

### <アンケートから>

○貴重なお話でした。ご自身の体験されたことを振り返って再考の視点を考えられ、そこにある集団化した見方があること、だから一対一の関係が大切であり、共生の基礎であるべきであること、ということをお教へいただきました。「観念にとらわれている」という言葉が印象に残りました。社会の共生のために、一人ひとりとの関係を大切につくっていくこと、その大切さを伝えていくことを意識していきたいと感じました。

○「お茶飲み会」の取組には感動しました。じっくり子どもに向き合っ、部落認識を豊かなものにしていく実践から、学ぶべきことがたくさんありました。私もさまざまな研修会で、自分のクラス、学校に、その人権課題の「当事者」がいないから…ではなくて、すべての人が出会う、また、当事者になりうるという前提で、すべての学校で取り組む重要性を確認しています。

## II 『全国水平社・全九州水平社設立百周年講座~部落解放運動100年のはじまり』開催

日時：2022年9月11日(日) 14:00~16:00(13:30開場)

会場：嘉麻市碓井住民センター大ホール(嘉麻市上碓井446-1)

内容：提起1 改善運動から水平運動へ 首藤卓茂さん

提起2 花山清手紙関連 関儀久さん (問合せは、事務局まで)

## III 2022年度「啓発担当者のための人権講座」開催

日時：2022年10月3日(月)12:30(受付)13:00~16:30

会場：福岡市中央市民センター大ホール(会場開催と同時にライブ配信も行います)

内容：①講演 「(仮)インターネット社会における人権侵害と部落差別の現実」

講師 川口 泰司さん(一般社団法人山口県人権啓発センター事務局長)

②報告 「(仮)福岡県におけるインターネット・モニタリング事業について」

報告者 福岡県人権・同和対策局職員

\*詳細については、決まり次第チラシやホームページでお知らせします。

<お知らせ>8月11日(木)~8月15日(月)まで閉局します。

ニュース担当：峰 <会員登録がまだお済みでない方はHPからお願いします>

812-0046 福岡市博多区吉塚本町13-50 ホームページ <https://www.f-jinken.com/>

tel 092-645-0388 fax 092-645-0387 email [info@f-jinken.com](mailto:info@f-jinken.com) (登録解除はこちらへ)

[人権研究所の本]

新谷恭明『校則なんて大嫌い！－学校文化史のおきみやげ－』

久米祐子『子どもから障害児を「分けない教育」の戦後史インクルーシブ教育とは－』

木村政伸『教室の灯は希望の灯 自主夜間中学「福岡・よみかき教室」の二五年 』

関 儀久『感染症と部落問題 近代都市のコレラ体験』

☆お求めは⇒<https://books-f-jinken.raku-uru.jp/>